



ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE

FUJIEDA ROTARY CLUB
藤枝ロータリークラブ会報



例 会：毎週水曜日 小杉苑
藤枝市青木2-35-30 TEL:054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL:054-647-2300
FAX:054-647-2040
E-mail：club1972@fujieda-rotary.org

会 長：大長 昭子 副会長：島村 武慶 幹 事：大塚 高弘 副幹事：玉木 潤一郎

2017-2018年度 R1テーマ
ロータリー：変化をもたらす

♪ソング…我が藤枝ロータリー
♪ソングリーダー…荒井 聡君

第2209回
通常例会／小杉苑

■ **会 長 報 告**

大長 昭子君

11 月 15 日 15:00
～ 掛川の出雲殿
で会長幹事会が開
催されました。
2620 地区第 4 グル
ープの 10 クラブで
構成されています。
議題



1. 次年度以降ガバナー補佐順番について

掛川 RC からは、順番が早まった変更できないか、
磐田 RC からパスト会長会に諮ったところ異論が
なく、予定より早まったが選出準備をしている
との意見があり、検討の結果原則設立順となり
今回のみ掛川三番目、焼津南四番目に変更と
なりました。

当クラブは、11 年後となります。

2 会長幹事会運営規定について

原案を福島・村松ガバナー補佐で作成・提示し
検討する。

3 青少年交換事業について

概要・実績説明後に次年度検討する。

4. 次回会長・幹事会は後日連絡することになり
ました。

以上会長幹事報告です。

来週 29 日は休会、12 月 6 日は例会・理事会で
す。

(1) 欠席者 (事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○青島鉄君 ○大塚高君 ○大杉君 ○菅原君
○鈴木舜君 ○仲田晃君 ○松田君 ○間野君
江崎晴君 村松英君 鈴木透君

(2) メイクアップ者

池ノ谷 敏正君 (藤枝南)

■ **ビ ジ タ ー**

鹿養 知良君 (名古屋名東 RC)

駒形 昌利君 (島田 RC)

■ **スマイル B O X**

土屋 秀夫君

・第 71 回全国お茶まつり長崎大会で平成 21 年
度、茶葉功績者表彰を頂きました。

松葉 隆夫君

スマイル累計額 76,000 円

■ **地 区 大 会 報 告**

大長会長



1 日目

11:30～20:15、焼津グランドホテルで開催され
ました。

参加者 270 名、当クラブからは石垣地区奉仕委員、
会長、大塚幹事が参加しました。

11:30～ 地区大会四委員会開催、PDG4 名、ガバ
ナー補佐 11 名が参加。この委員会は、登録・資格
審査・選挙・大会決議委員会構成されています。

12:57～16:00 地区役員、会長・幹事会議開催

■ **出 席 報 告**

土屋 秀夫君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
32/43 74.42%	35/43 81.40%

RI 会長代理入場から始まり開会の点鐘、ソング、開会の言葉、RI 会長代理・来賓・役員紹介がありました。

松村ガバナー挨拶では、地区目標は「未来のロータリーについて考える」、3つの重点分野として①寛容の心②先進国の抱える課題③平和の構築があり、ポリオ撲滅後の取り組み対策、環境問題も意識化が必要とのお話がありました。

大会四委員会報告では、大会決議案1号～12号が読み上げられ審議採択がされました。

野木公共イメージ向上委員長よりポリオディプロジェクト報告があり地区79クラブが参加、全国募金額3,300千円、世界3,321件、30件の新聞報道があった旨報告がありました。

志田パストガバナーより「未来のロータリーを考える」について 会員の減少、高齢化より所属クラブの基盤強化、細則の見直し、クラブの柔軟性が必要。入会時に仕事と家庭が大事と考える人がいれば100%出席は厳しい、二世会員は会費を半額にする等工夫していくことが必要。各クラブの活性化、未来のロータリーを話し合う話あって欲しいとのお話がありました。

18:15～20:15 小沢一彦RI 会長代理の歓迎晩餐会
11:50～16:20 エクスカーション、令夫人等の観光等が行われました。

2日目

焼津文化センターで9:00～13:00、本会議が開催され79クラブ、会員3,000人中1,309名に加えローターアクト、地区外パストガバナー計1,470名が参加しました。

米山学友ホームカミングでは、フィフィアフィヤンティさんのお話がありました。インドネシア出身で世話クラブ静岡ロータリークラブです。常葉大の修士課程卒業、日大博士課程退学、現在Jトラストインドネシア銀行で翻訳・通訳の仕事をしています。

奨学生になって良かったことは、アルバイトをしないで論文がかけた。イベントに参加することで他の奨学生と会えたことだそうです。記念講演は白駒 妃登美氏の「歴史が教えてくれる日本人の生き方」でお話がありました。

慶応大学を卒業後、大手航空会社の客室乗務員として勤務、大病を患い生き方の変化をさせ病気を克服その経験談をお話いただきました。14:00～16:00 焼津魚市場にて大懇親会がありました。

以上地区大会の報告を終わります。

ロータリーの友紹介

栗原 毅君

『ロータリーの友11月号紹介』



今年度の新たなる『友』編集目標
清水 良夫（横浜 RC）

年度においても、地域雑誌の役割を果たし、会員同士が共有すべきロータリーの情報を提供し、多様な価値観を持つ会員間での対話や議論が自然と起きて、その絆を一層深めることのできる『友』をお届けします。

『友』をお届けするにあたり、各地区から選出された「ロータリーの友地区代表委員」の役割の大切さが、ロータリーの友委員会で再認識、確認されました。これにより、「友地区代表委員」には、『友』に関する「ガバナーの代表者」としての任務を全うして頂きたいと願っております。

地区内の情報を編集部へ提供し、編集に協力して下さることを期待します。皆様の地区から選出された「友地区代表委員」メンバーは、第2620地区 多々良匡（焼津）です。

今年度より、新編集長の元、以下の5点を重点的に編集変更致します。

1. 表紙が変わります。

今年度は、イラストで表紙を飾ります。前年度の写真によるロータリーの国際的な活動イメージを生かしつつ、日本のロータリアンの雑誌というエッセンスを盛り込みました。イラストにすることで、写真と異なる表現でロータリーの可能性や広がり、そして一層の親しみやすさをアピール、より多くの方に活用してもらうことを目的としています。

2. 「New Generation」の連載を開始します。

インターアクター、ローターアクター、青少年交換学生、財団奨学生、米山奨学生、RYLA（ロータリー青少年指導者育成プログラム）など、ロータリーのプログラムに参加している、または参加したことがある10～30代の

人に、未来の夢へ向かって努力していることなど報告してもらい、ロータリーが育んだ若者の成長を写真とともに紹介します。

3. 「私の一冊」の連載を開始します。
ロータリアン、家族を対象に、最近読んで感動した本、人生を変えた一冊、思い入れの深い一冊、毎月2冊紹介します。

4. 「声」を開始します。
読者、投稿者、友委員会ともコミュニケーションの場として、『友』に関する建設的な意見、感想、質問を掲載するページを設けます。気軽に感想を寄せてもらえるよう、文字数は200文字以内に限定。「友地区代表者」から寄せられたレポートから抜粋し掲載することもあります。多く寄せられて質問などには、友委員会方の回答も掲載します。

5. クラブを訪ねて
好評いただくこのコーナーは今年度も継続します。候補となるクラブは、主に「友地区代表委員」の推薦を受け、編集会議で決定します。外部ライター、カメラマンの視点を十分に生かした企画とします。

●●地区大会●●

平成29年11月12日（日）
焼津市民文化会館・焼津魚市場



(担当／仲田廣君)